

宇部工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	国語 I B	
科目基礎情報							
科目番号		0002		科目区分	一般 / 必修		
授業形態		講義		単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科		経営情報学科		対象学年	1		
開設期		後期		週時間数	2		
教科書/教材		「新 高等学校 国語総合」(明治書院)、「ステップアップ高校漢字問題集」(東京書籍)、「カラー版新国語便覧」(第一学習社)					
担当教員		赤迫 照子					
到達目標							
①様々な視点から古典文学に親しみ、鑑賞文を書くことができる。 ②文学史の基礎知識を習得できる。 ③文法事項を理解できる。 ④歴史的仮名遣いを理解し、適切に音読できる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		最低限の到達レベルの目安(可)		未到達レベルの目安
評価項目1	古文を鑑賞し、自分の感想を文章化できる。		古文を鑑賞できる。		古文を読解できる。		古文が読解できない。
評価項目2	文法事項を9割以上理解できる。		文法事項を8割以上理解できる。		文法事項を7割程度理解できる。		文法事項の理解度が6割に満たない。
評価項目3	文のリズムを意識しながら適切に音読できる。		適切に音読できる。		音読ができる。		音読できない。
学科の到達目標項目との関係							
教育目標 (G) ①							
教育方法等							
概要		第3学期開講。 検定教科書を使用し、古文を学習する。					
授業の進め方・方法		教科書本文を読解する。内容理解のためにプリントを配付する。適宜、口頭試問を実施する。					
注意点		①提出物については、厳しく対応する。締切を厳守すること。 ②授業中、プリントを配付する。ファイルを準備し、きちんと整理しておくこと。 ③ノートの書き方を指示する。					
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	ガイダンス 古文入門①		古文の学習目的が理解できる。 歴史的仮名遣い・古語・文法・古典常識を理解できる。		
		2週	古文入門②		古文の学習目的が理解できる。 歴史的仮名遣い・古語・文法・古典常識を理解できる。		
		3週	古文入門③		古文の学習目的が理解できる。 歴史的仮名遣い・古語・文法・古典常識を理解できる。		
		4週	伊勢物語①		歌物語を読解できる。		
		5週	伊勢物語②		歌物語を読解できる。		
		6週	伊勢物語③		歌物語を読解できる。		
		7週	伊勢物語④ 鑑賞文を書く		歌物語を読解し、鑑賞できる。		
		8週	和歌①		歌物語を読解できる。		
	4thQ	9週	和歌②		歌物語を読解できる。		
		10週	和歌③		歌物語を読解できる。		
		11週	和歌④ 鑑賞文を書く		歌物語を読解し、鑑賞できる。		
		12週	徒然草①		随筆を読解できる。		
		13週	徒然草②		随筆を読解できる。		
		14週	徒然草③ 鑑賞文を書く		随筆を読解し、鑑賞できる。		
		15週	定期試験				
		16週	試験返却・解説		試験解説により、古文への理解を深める。		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	国語	国語	論理的な文章を読み、論理の構成や展開の把握にもとづいて論旨を客観的に理解し、要約し、意見を表すことができる。また、論理的な文章の代表的構成法を理解できる。		3	後1,後2,後3,後4,後5,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16

				代表的な文学作品を読み、人物・情景・心情の描写ならびに描写意図などを理解して味わうとともに、その効果について説明できる。	3	後1,後2,後3,後4,後5,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16
				文章を客観的に理解し、人間・社会・自然などについて考えを深め、広げることができる。	3	後1,後2,後3,後4,後5,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16
				文学作品について、鑑賞の方法を理解できる。また、代表的な文学作品について、日本文学史における位置を理解し、作品の意義について意見を述べることができる。	3	後1,後2,後3,後4,後5,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16
				鑑賞にもとづく批評的な文章の執筆や文学的な文章（詩歌、小説など）の創作をとおして、感受性を培うことができる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16
				読書習慣の形成をとおして感受性を培い、新たな言葉やものの見方を習得して自らの表現の向上に生かすことができる。	3	後1,後2,後3,後4,後5,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16
				現代日本語の運用、語句の意味、常用漢字、熟語の構成、ことわざ、慣用句、同音同訓異義語、単位呼称、対義語と類義語等の基礎的知識についての理解を深め、その特徴を把握できる。また、それらの知識を適切に活用して表現できる。	3	後1,後2,後3,後4,後5,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16
				代表的な古文・漢文を読み、言葉や表現方法の特徴をふまえて人物・情景などを理解し、人間・社会・自然などについて考えを深めたり広げたりすることができる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16
				古文・漢文について、音読・朗読もしくは暗唱することにより、特有のリズムや韻などを味わうことができる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16

				代表的な古文・漢文について、日本文学史および中国文学史における位置を理解し、作品の意義について意見を述べることができる。また、それらに親しもうとすることができる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16
				教材として取り上げた作品について、用いられている言葉の現代の言葉とのつながりや、時代背景などに関する古文・漢文の基礎的知識を習得できる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16
				情報の収集や発想・選択・構成の方法を理解し、論理構成や口頭によるものを含む表現方法を工夫して、科学技術等に関する自らの意見や考えを効果的に伝えることができる。また、信頼性を重視して情報を分析し、図表等を適切に活用・加工してコミュニケーションに生かすことができる。	3	後1,後2,後3,後4,後5,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16
				他者の口頭によるものを含む表現について、客観的に評価するとともに建設的に助言し、多角的な理解力、柔軟な発想・思考力の涵養に努めるとともに、自己の表現の向上に資することができる。	3	後1,後2,後3,後4,後5,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16
				相手の意見を理解して要約し、他者の視点を尊重しつつ、建設的かつ論理的に自らの考えを構築し、合意形成にむけて口頭によるコミュニケーションをとることができる。また、自らのコミュニケーションスキルを改善する方法を習得できる。	3	後1,後2,後3,後4,後5,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16
				社会で使用される言葉を始め広く日本語を習得し、その意味や用法を理解できる。また、それらを適切に用い、社会的コミュニケーションとして実践できる。	3	後1,後2,後3,後4,後5,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16

評価割合						
	試験	レポート	小テスト	口頭試問	合計	
総合評価割合	70	15	10	5	100	
知識の基本的な理解	50	10	10	5	75	
思考・推論・創造への適用力	10	5	0	0	15	
汎用的技能	10	0	0	0	10	
態度・志向性(人間力)	0	0	0	0	0	
総合的な学習経験と創造的思考力	0	0	0	0	0	